

# 2022 年度事業報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

<b>国際交流事業</b>		
1	国際講演会	なし
2	IBBY 支部としての活動	ア) IBBY 世界大会 (9月マレーシア) イ) 国際子どもの本の日キャンペーン (3月) ウ) 日中韓共同プロジェクト (12月) エ) 年会費の納入 オ) IBBY と日本のスポンサーとの橋渡し カ) IBBY チルドレン・イン・クライシスへの協力
3	国際賞への推薦事業	ア) 国際アンデルセン賞 イ) IBBY サイレント・ブックス ウ) IBBY バリアフリー児童図書セレクション エ) アストリッド・リンドグレン記念文学賞 (5月)
4	派遣・出展事業	ア) ボローニャ・ブックフェア (イタリア)
<b>調査研究・情報提供事業</b>		
1	図書展	ア) 世界の子どもの本展 (7会場) イ) 世界のバリアフリー児童図書展 (14会場)
2	ブックリストの作成	ア) 「IBBY がすすめる世界の児童書 2022」 イ) 「おすすめ! 日本の子どもの本 2022」 ウ) 「Japanese Children's Books 2022」 エ) 「おすすめ! 世界の子どもの本 2022」 オ) 「あしたの本だな」
3	講座・研究会	ア) 国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座 (5回) イ) 新・編集者講座 (3回) ウ) 子どもの本の翻訳フォーラム (1回) エ) 希望プロジェクト学びの会 (3回)
4	会報の発行	「Book & Bread」(年4回、6・9・12・3月)
5	ウェブサイトほか	ホームページ / Facebook / Facebook 会員サロン / Twitter / Instagram / メールマガジン / YouTube チャンネル
6	協力事業ほか	ア) 子どもの読書推進会議 イ) プラチスラバ世界絵本原画展 (国内巡回展) ウ) 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」 エ) 群馬県太田市美術館・図書館 オ) 後援名義の提供 ほか
<b>その他の事業</b>		
1	イタリア・ボローニャ国際絵本原画展	巡回展事務局業務 (4会場)
2	希望プロジェクト	ア) 支援活動 (野馬追文庫・子ども食堂・避難してきた子ども ほか) イ) あしたの本だな (少年院ライブラリー) ウ) 募金活動
3	フォーラム・子どもたちの未来のために	学習会・講演会など (2回)
4	会員活動	ア) ノンフィクションの子どもの本を考える会 イ) 絵本部
5	三浦太郎展 絵本とタブロー (スポット)	展覧会事務局業務 (1会場)
6	物販	なし
<b>組織・その他</b>		
1	総会・理事会	総会 1回 (6月) / 理事会 4回

## ● 2022 年度カレンダー（2022 年4月～ 2023 年3月）

4月	-28日：世界の子どもの本展（東京都・出版クラブビル） 2日：国際子どもの本の日 2日：「おすすめ！日本の子どもの本2022」発行
5月	9日：ノンフィクションの子どもの本を考える会① 13日：理事会① 17日：アストリッド・リンドグレン記念文学賞推薦 24日-6月7日：世界の子どもの本展 / 世界のバリアフリー児童図書展（富山県・富山市立図書館）
6月	9-22日：世界のバリアフリー児童図書展（東京都・光塩女子学院中等科・高等科） 10日：理事会② 25日：第52回定時総会 25日：フォーラム・子どもたちの未来のために① 25日-7月7日：世界のバリアフリー児童図書展（東京都・墨田区立緑図書館） 25日-8月7日：イタリア・ボローニャ国際絵本原画展（東京都・板橋区立美術館） 30日：会報151号発行
7月	2-18日：世界の子どもの本展（北海道・剣淵町絵本の館） 12-25日：世界のバリアフリー児童図書展（静岡県立大学短期大学部） 17日：国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座①
8月	1日：「Japanese Children's Books 2022」発行 3-15日：世界のバリアフリー児童図書展（香川県・高松市夢みらい図書館） 7日：希望プロジェクト学びの会① 13日-9月25日：イタリア・ボローニャ国際絵本原画展（兵庫県・西宮市大谷記念美術館） 19日-9月1日：世界のバリアフリー児童図書展（東京都・荒川区中央図書館） 20日：国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座②
9月	10-12日：第38回IBBY世界大会（マレーシア） 12-25日：世界のバリアフリー児童図書展（高知県・高知こどもの図書館） 14日：新編集者講座① 21日：新編集者講座② 23日-10/2：世界の子どもの本展（長野県・大桑村図書館） 29日：ノンフィクションの子どもの本を考える会② 30日：会報152号発行
10月	2日：国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座③ 4日：国際アンデルセン賞作家賞選考会 6日：国際アンデルセン賞画家賞選考会 18-31日：世界のバリアフリー児童図書展（長野県・清泉女学院大学・短期大学図書館） 31日：国際アンデルセン賞推薦
11月	3日-12月11日：イタリア・ボローニャ国際絵本原画展（石川県七尾美術館） 5日：国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座④ 9-23日：世界の子どもの本展（長野県・松川村図書館） 11日-12月25日：ブラチスラバ世界絵本原画展（千葉県・千葉市美術館） 13日：希望プロジェクト学びの会② 12-27日：世界のバリアフリー児童図書展（群馬県・太田市美術館・図書館） 16日：理事会③ 19日-1月9日：三浦太郎展（東京都・板橋区立美術館） 24日：新編集者講座③ 28日：フォーラム・子どもたちの未来のために②
12月	1-7日：世界の子どもの本展（愛知県・豊橋市民文化会館） 4日：国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座⑤ 6-18日：世界のバリアフリー児童図書展（神奈川県・横浜ラポール） 17日-1月22日：イタリア・ボローニャ国際絵本原画展（群馬県・太田市美術館・図書館） 31日：「おすすめ！世界の子どもの本2022」発行 31日：「あしたの本だな」発行 31日：会報153号発行
1月	20-29日：世界のバリアフリー児童図書展（愛知県・豊田氏こども図書室） 26日：ノンフィクションの子どもの本を考える会③ 27日：IBBYサイレント・ブックス推薦 29日：子どもの本の翻訳フォーラム
2月	6日：理事会④ 8日-3月12日：ブラチスラバ世界絵本原画展（大阪府・東大阪市市民美術センター） 10-19日：世界のバリアフリー児童図書展（東京都・板橋区立蓮根図書館） 22日：希望プロジェクト学びの会③ 25日：希望プロジェクト協賛講演会（福島県立図書館）
3月	国際子どもの本の日キャンペーン 3-7日：世界のバリアフリー児童図書展（福井県・福井大学付属図書館） 6-9日：ボローニャブックフェア（イタリア） 17-27日：子どもの本の日フェスティバル / 世界の子どもの本展 18-28日：世界のバリアフリー児童図書展（静岡県・浜松市立中央図書館） 31日：「IBBYがすすめる世界の児童書」発行 31日：会報154号発行

## 【国際交流事業】

### 1. 国際講演会

なし

### 2. IBBY 支部としての活動

#### ア) IBBY 世界大会（隔年）

第 38 回 IBBY 世界大会がマレーシアで開催された。

大会テーマ	子どもの本がつなぐ大きな世界
会期	2022 年 9 月 10 ～ 12 日
開催国	マレーシア・プトラジャヤ

#### ■ IBBY と世界大会・地域大会

現在 IBBY には 80 の国と地域が加盟しており、隔年で開催される子どもの本の世界大会（IBBY 世界大会）では、国際アンデルセン賞や IBBY 朝日国際児童図書普及賞の授与式のほか、総会や役員選挙などが行われる。数年前から、世界大会がない年に、地域ごとの大会も開催されるようになった。ヨーロッパ地域大会、ラテンアメリカ・カリビアン地域大会、アフリカ大会、アジア・オセアニア地域大会がある。アメリカ合衆国は、26 年前から独自に USBBY 大会を実施している。

#### イ) 国際子どもの本の日キャンペーン

4 月 2 日の「国際子どもの本の日」を記念し日本でも事業を行った。

##### (1) 世界共通ポスターとメッセージの発信

IBBY 各国支部が順番に作成するポスターとメッセージを日本語版にし、JBBY 会員のほか全国の公共図書館や関連施設に配布した。

2023 年担当国	ギリシャ
メッセージ	ヴァゲリス・イリオプロス
ポスター	フォティニ・ステファニーディ
メッセージ翻訳	前沢明枝
日本語版メッセージ/ポスター	メッセージ（A4 二つ折り）、ポスター（A2）各 6,000 部

##### (2) 記念イベントの実施

「JBBY 子どもの本の日フェスティバル」を対面とオンラインの併用で実施した。本年は、子どもの本にまつわる様々な仕事体験をとおして本の面白さを

伝えた。「子どもゆめ基金」助成活動。参加者のべ 457 人。

3/17・18(金・土)	・本の世界をたんけんしよう！「IBBY オナーリスト」「おすすめ！日本の/世界の子どもの本」「あしたの本だな」に選定された国内外の児童書約 600 冊を展示。ゲームなどで本を楽しんだ。	(会場) 童心社
3/18(土)	・翻訳家体験「世界の絵本の絵を読もう①②」 講師：木村有子、野坂悦子	童心社
3/18(土)	・本の PR 体験「おすすめ絵本のポップをつくろう」 講師：中村健太郎	童心社
3/21(祝)	・本屋さん体験①「絵本屋さんでポップをつくろう」 講師：茅野由紀、サンプルパバ	ブックハウスカフェ
3/25(土)	・本屋さん体験②「絵本屋さんで読み聞かせしよう」 講師：茅野由紀、サンプルパバ	ブックハウスカフェ
3/25(土)	・作家体験「『主人公』作りから始めよう！楽しい物語の書き方 Workshop」 講師：那須田淳、佐藤まどか	オンライン
3/26(日)	・あそびうたと工作「紙コップ人形を作って、絵本であそぼう！うたであそぼう！」 講師：上地史人、三根政信	オンライン
3/26(日)	・絵本作家体験「描いて想像してつながろう「ちきゅうパスポート」」 講師：あべ弘士、石川えりこ、ささめやゆき、降矢なな、堀川理万子	オンライン
3/27(月)	・編集者体験「自分だけのオリジナルの帯をつくろう」 講師：堀創志郎	ポプラ社
3/27(月)	・科学あそび「ぼくもわたしもカミナリさま カミナリカードをつくろう」 講師：坂口美佳子	ポプラ社

#### ■ 国際子どもの本の日

IBBY は 1966 年に、アンデルセンの誕生日である 4 月 2 日を「国際子どもの本の日」と定め、各国で本を普及するイベントを奨励した。翌 67 年からは、IBBY 支部が交代に記念ポスターとメッセージを作成し、世界中に発信している。

## ウ) 日中韓共同プロジェクト

2019年に始動。IBBYの日中韓支部が年に1～2回テーマを決めて5冊ずつ自国のおすすめ本を選ぶ。第4回のテーマは「Time（時間）」。中国・韓国の本の情報が揃い次第ウェブサイトで紹介（2023年6月頃を予定）。<https://jbbby.org/cjkbby-project/>

日本の本	『まっている。』村上康成作 / 講談社
	『やとのいえ』八尾慶次作 / 偕成社
	『りんごだんだん』小川忠博写真・文 / あすなろ書房
	『福島に生きる凛ちゃんの10年』豊田直巳写真・文 / 農山漁村文化協会
	『ネムノキをきららないで』岩瀬成子作 / 植田真絵 / 文研出版
選書	奥山恵、坂口美佳子、さくまゆみこ、汐崎順子、土居安子、福本友美子、野上暁
原稿執筆	さくまゆみこ、野上暁、広松由希子
翻訳	神谷丹路、王玉、李麗
編集	竹迫祐子、藤田隆広

## 工) IBBY年会費の納入

年会費 7,500 スイスフラン (=1,074,300 円) を納めた。IBBYの会費カテゴリーは、その支部の年間児童書出版点数を基準に決まる。(2022年現在 81カ国)

カテゴリー 1 (6カ国)	中国、フランス、ドイツ、日本、イギリス、アメリカ合衆国
カテゴリー 2 (10カ国)	オーストラリア、ベルギー、カナダ、イタリア、韓国、オランダ、スペイン、スウェーデン、スイス、アラブ首長国連邦
カテゴリー 3 (2カ国)	デンマーク、ノルウェー
カテゴリー 4 (9カ国)	オーストリア、ブラジル、チェコ、フィンランド、インド、アイルランド、メキシコ、ポーランド、ロシア
カテゴリー 5 (7カ国)	アルゼンチン、アイスランド、イラン、マレーシア、ニュージーランド、スロベニア、タイ

カテゴリー 6 (11カ国)	チリ、コロンビア、クロアチア、キプロス、エジプト、ギリシャ、ハンガリー、インドネシア、スロバキア、南アフリカ、ベネズエラ
カテゴリー 7 (13カ国)	アゼルバイジャン、ドミニカ、エクアドル、エストニア、ヨルダン、ラトビア、リトアニア、パキスタン、ペルー、トルコ、ウクライナ、ウズベキスタン、ベトナム
カテゴリー 8 (22の国と地域)	アフガニスタン、アルバニア、アルメニア、ボリビア、カンボジア、カメルーン、コスタリカ、キューバ、エルサルバドル、ガーナ、グアテマラ、ハイチ、レバノン、モルドバ、モンゴル、ネパール、パレスチナ、スリランカ、タンザニア、ウガンダ、ウルグアイ、ジンバブエ

## オ) IBBYと日本のスポンサーとの連携協力

連絡や交渉の中継や、会議の段取りをした。

IBBY 朝日国際児童図書普及賞	朝日新聞社
IBBY 山田基金	山田養蜂場

### ■ IBBY 朝日国際児童図書普及賞 (IBBY-Asahi Reading Promotion Award)

1986年に東京で、アジアで初めてのIBBY世界大会が開催された際、朝日新聞社がIBBYの活動に賛同して創設した賞。図書普及や識字活動で成果をあげた団体に贈られる。

### ■ IBBY 山田基金 (IBBY-Yamada Fund)

スマトラ島沖地震(2004)に対し山田養蜂場から寄せられた義援金を元に2005年に発足した基金。その後も支援は継続し、年間8～10の国と地域で、読書推進のための草の根ワークショップを行う。

## カ) IBBY チルドレン・イン・クライシスへの協力

IBBYが呼びかける募金に適宜協力する。2022年度は、洪水被害にあったパキスタンや、ウクライナ難民を支援するポーランドでの活動。

### ■ IBBY チルドレン・イン・クライシス

自然災害や紛争などで危機に直面している子どもたちを本で支援する。IBBY支部や関連団体が現地が行う支援活動を支えるための国を超えた募金活動。

## 3. 国際賞への推薦

### ア) 国際アンデルセン賞への推薦 (隔年事業)

国内選考会を実施し、2024年国際アンデルセン賞

に岩瀬成子氏と荒井良二氏を推薦した。

作家賞	岩瀬成子	代表5作品： 『朝はだんだん見えてくる』 『ぼくが弟にしたこと』(以上、 理論社)『ピース・ヴィレッジ』 (偕成社)『きみは知らないほ うがいい』(文研出版)『あた らしい子がきて』(岩崎書店)
画家賞	荒井良二	代表5作品： 『ユックリとジョジョニ』(ほ るぷ出版)『たいようオルガ ン』『あさになったのでまど をあけますよ』『きょうはそ らにまるいつき』(以上、偕 成社)『こどもたちはまっ ている』(亜紀書房)

▽国内選考会 (オンライン)

作家賞	10/4	選考委員：さくまゆみこ、代田 知子、土居安子、中野怜奈、野 上暁
画家賞	10/6	選考委員：位頭久美子、土居安子、 広松由希子、松岡希代子、松本 猛

■国際アンデルセン賞

1953年にIBBYが創設した子どもの本の国際的な賞で「Little Nobel Prize (小さなノーベル賞)」と称される。3年の準備期間を経て1956年に第1回の授与式が行われた。IBBYに加盟する支部が推薦する候補者の中から、2年に1度、子どもと子どもの本に最も貢献した作家と画家の全業績を対象に贈られる。選考は、世界11カ国から選任された国際選考委員(委員長含)があたる。日本からは、赤羽末吉(1980画家賞)、安野光雅(1984画家賞)、まど・みちお(1994作家賞)、上橋菜穂子(2014作家賞)、角野栄子氏(2018年作家賞)が受賞している。

イ) IBBY サイレント・ブックス (隔年事業)

第6回IBBYサイレント・ブックスに、下記の3作品を推薦した。会員から推薦を募り、理事会にて選定した。

『100』	名久井直子作／井上佐由紀写 真／福音館書店
『MOON PHASE』	駒形克己作／ONE STROKE ／2019
『カーたろうとこ けしっぺ』	山田美津子作／理論社／2019

■IBBY サイレント・ブックス

2012年にIBBYイタリア支部が開始したプロジェクト。サイレント・ブックス(Silent Books)とは文字のない絵本のこと。アフリカや中東からの移民や難民が集まる地中海の小島ランペドゥーサに子ども図書館を造り、母語の異なる子どもたちのために、2年に1度世界中から文字のない絵本を収集する。

ウ) 2023年IBBYバリアフリー児童図書セレクション(隔年事業)

2022年にJBBYが推薦した10作品のうち、3作品が2023年のIBBYセレクション(Selection of the 2023 Outstanding Books for Young People with Disabilities)に選定された。2023年は、22カ国から40点が選ばれた。日本では、2024年度に国内巡回展を計画中。

『仕事に行ってきます①クッキーづくりの仕事 洋美さんの1日』	季刊「コトノネ」編集部／埼玉福祉会
『りんごだんだん』	小川忠博写真・文／あすなろ書房
『わたしが障害者じゃなくなる日』	海老原宏美著／旬報社

■IBBYバリアフリー児童図書

1985年、障害児向けの図書の調査研究と利用の促進を目的にノルウェーのオスロ大学特別支援研究所の中に、IBBYの障害児のため図書資料センターが設立。以来、各国支部から障害児の読書を助ける優れた児童書を収集、その中から特に際立った作品のカタログを発行してアイデアバンクとしての役割を果たしている。センターは、2002年にノルウェー・バルムのハウグ特別支援学校図書館へ、2014年にカナダのトロント市立ノースヨーク中央図書館へ移転。

エ) アストリッド・リンドグレーン記念文学賞(毎年)

2023年アストリッド・リンドグレーン記念文学賞に、前年に引き続き田島征三氏を推薦した。

■アストリッド・リンドグレーン記念文学賞

『長くつ下のピッピ』で知られるスウェーデンの児童文学作家アストリッド・リンドグレーンの功績を記念し、スウェーデン政府が2002年に創設した賞。世界中の子ども本の作り手、または子どもの本の普及に貢献した人・団体を対象に贈られる。日本で推薦権を有するのは、JBBYと大阪国際児童文学振興財団、日本図書館協会、荒井良二氏(2005年受賞者)。

## 4. 派遣・出展事業

### ア) ボローニャ・ブックフェア (イタリア)

2023年3月6～9日に開催されたボローニャ・ブックフェアで、日本の子どもの本に関するイベントを主催/協力した。JBBY発行の英文リスト「Japanese Children's Books」や、2021年度に国際交流基金に協力して作成した「Lifelong favorite」をフェア参加者に配布した。

3/6 (月)	「日本「島」からの絵本の発信」 講師：広松由希子
3/6 (月)	「永遠の旅人 安野光雅」 講師：松岡希代子
3/7 (火)	ワークショップ「絵本の付録デザイン」 講師：オオノマユミ
3/7 (火)	「『視るを超えて』絵本原画木製パネルプロジェクトについて」 講師：松岡希代子、森泉文美
3/7 (火)	「さわる絵本プロジェクト」 講師：ピエトロ・ヴェッキアレツリ
3/8 (水)	「ようこそ子どもの本の世界へ」 講師：広松由希子 ビデオ出演：土居安子
3/9 (木)	ワークショップ「日本の絵本翻訳道場」 講師：マリアエレナ・ティージ、森泉文美
3/9 (木)	ワークショップ「The Earth Passport」 講師：降矢なな

はコロナウィルスの影響で中止とした。

JBBY YouTube チャンネルで、会員の各言語専門家による作品の紹介動画を配信。

### ▽巡回展

3/8～4/28	東京都	出版クラブビル・クラブライブラリー
5/24～6/7	富山県	富山市立図書館 (TOYAMA キラリ)
7/2～18	北海道	剣淵町絵本の館
9/23～10/2	長野県	大桑村図書館
11/9～23	長野県	松川村図書館
12/1～7	愛知県	豊橋市民文化会館
2023/1/10～21	高知県	オーテピア高知図書館
※2022年版 3/17～18	東京都	童心社紙芝居ホール(2022年版)
日本のIBBY オナーリスト		○2020年:『きみの存在を意識する』(梨屋アリエ作/ポプラ社)、『よるのおと』(たむらしげる作/偕成社)、『青い月の石』(トンケ・ドラフト作/西村由美訳/岩波書店) ○2022年:『徳治郎とボク』(花形みつる作/理論社)、『つかまえた』(田島征三作/偕成社)、『ケンタウロスのポロス』(ロベルト・ピウミーニ作/長野徹訳/岩波書店)

### イ) 世界のバリアフリー児童図書館展 (隔年事業)

2021年の選定図書40タイトル(26カ国)を14会場で展示した。

5/24～6/7	富山県	富山市立図書館 (TOYAMA キラリ)
6/9～22	東京都	光塩女子学院中等科・高等科 (学内公開)
6/25～7/7	東京都	墨田区立緑図書館
7/12～25	静岡県	静岡県立大学短期大学部 (学内公開)
8/3～15	香川県	高松市夢みらい図書館
8/19～9/1	東京都	荒川区中央図書館ゆいの森あらかわ
9/12～25	高知県	高知こどもの図書館

## 【調査研究・情報提供事業】

### 1. 図書館展

#### ア) 世界の子どもの本展

2020年IBBYオナーリストに選ばれた179冊(60の国と地域48言語)と2020年国際アンデルセン賞受賞者(作家賞:ジャクリーン・ウッドソン氏、画家賞:アルベルティース氏)の作品を7会場で展示した。2023年3月には、国際子どもの本の日フェスティバルの一環で、2022年版を披露した。「子どもゆめ基金」助成活動として計画していた巡回講演会「世界の子どもの本はこんなに面白い！」

10/18～31	長野県	清泉女学院大学・短期大学図書館
11/12～27	群馬県	太田市美術館・図書館
12/6～18	神奈川県	横浜ラポール
2023/1/20～29	愛知県	豊田市こども図書室
2/10～19	東京都	板橋区立蓮根図書館
3/3～7	福井県	福井大学附属図書館
3/18～28	静岡県	浜松市立中央図書館
選定された日本の図書	『ころりん・ぱ!』（ひらぎみつえ作／ほるぷ出版）、『こくん』（村中李衣作／石川えりこ絵／童心社）	

## 2. ブックリストの作成

### ア) 「IBBY がすすめる世界の児童書：国際アンデルセン賞とIBBY オナーリスト 2022」

IBBY 発行の「IBBY Honour List 2022」の日本語版を発行した。163 タイトル（53 の国と地域 47 言語）と 2020 年国際アンデルセン賞受賞者（作家賞：マリー＝オード・ミュライユ氏、画家賞：スージー・リー氏）の作品を紹介。翻訳は、会員の各言語専門家に依頼。

AB 判／56 頁／4 色	
発行日	2023 年 3 月 31 日
翻訳協力	愛甲恵子、宇野和美、王玉、大作道子、おおつかのりこ、片桐早織、神谷丹路、河野万里子、相良倫子、さくまゆみこ、櫻井映子、柴なほ、武富博子、富澤規子、南平かおり、野坂悦子、村岡直子、村田はるせ、よこのなな、若松宣子、脇本美穂、李麗
編集協力	川辺剛彦
協力	クロアチア大使館、スロバキア大使館、スロベニア大使館、日本カンボジア協会
協賛	日産自動車株式会社

### イ) 「おすすめ！日本の子どもの本 2022」

海外に紹介したい日本の子どもの本の英文ブックガ

イド。2020 年 9 月から 2021 年 8 月に刊行された本の中から、絵本・読みもの・ノンフィクションのカテゴリーで合計 90 冊を紹介。2022 年 12 月に刊行した「おすすめ！世界の子どもの本 2022」とともに全国の公共図書館に配布した。

AB 判／24 ページ／4 色	
発行日	2022 年 4 月 2 日
選書・執筆	奥山恵、坂口美佳子、さくまゆみこ、汐崎順子、土居安子、野上暁、福本友美子
表紙画	荒井良二
編集協力	梓澤設夫
特別協賛	日本児童教育振興財団

### ▽掲載図書（90 冊・掲載順）

◎絵本	
『ねられんねられんかぼちゃのこ』福音館書店	『ぼうしかぶって』童心社
『あまがえるのぼうけん』世界文化社	『いろいろかえる』偕成社
『ヴォドニークの水の館』BL 出版	『うしとごん』小学館
『うちのねこ』アリス館	『おおきなキャンドル馬車にのせ』偕成社
『おしゃべりくらげ』JULA 出版局／フレーベル館	『おそうじロボットのキュキュ』偕成社
『こたつ』福音館書店	『こねこのきょうだいかぞえうた おふる』BL 出版
『さくららら』アリス館	『さるじぞう』あすなろ書房
『しんかんせん!』くもん出版	『たいようがわらってる』学研プラス
『どちらがおおい? かぞえるえほん』小学館	『ぼくぼくはんぶん』福音館書店
『まだまだだまだ』偕成社	『まんぶくよこちょう』文溪堂
『みたらみられた』アリス館	『あおびょうたん』理論社
『海のアトリエ』偕成社	『うろおぼえ一家のおかいもの』理論社
『十二支のお雑煮』BL 出版	『せきれい丸』くもん出版

『とわちゃんとシナイモツゴのトトくん』 ひだまり舎	『バスザウルス』 亜紀書房
『レミーさんのひきだし』 小学館	
◎読みもの	
『うさぎとハリネズミ きょうもいいひ』 ひだまり舎	『くもとり山のイノシシ びょういん』 福音館書店
『さよならのたからばこ』 理論社	『すてきなひとりぼっち』 のら書店
『つくしちゃんとおねえちゃん』 福音館書店	『めいたんていサムくん』 童心社
『わたし、バリへいったの』 のら書店	『サイコーの通知表』 講談社
『ネムノキをきらないで』 文研出版	『みんなのためいき図鑑』 童心社
『あしたのことば』 小峰書店	『お江戸豆吉 けんか餅』 フレーベル館
『科学でナゾとき！ やまんぼの屋敷事件』 偕成社	『キャンドル』 フレーベル館
『ジャンプして、雪をつかめ！』 新日本出版社	『チョコレートのおみやげ』 BL 出版
『月にトンジル』 あかね書房	『わたしのあのこ あのこのわたし』 PHP 研究所
『ウィズ・ユー』 くもん出版	『エリーゼさんをさがして』 講談社
『サード・プレイス』 フレーベル館	『卒業旅行』 偕成社
『拝啓 バンクスノットデッドさま』 くもん出版	『ボーダレス・ケアラ』 理論社
『ぼくのまつり縫い 手芸男子とカワイイ後輩』 偕成社	『夜叉神川』 講談社
◎ノンフィクション	
『あるヘラジカの話』 あすなろ書房	『このかみなあに?』 福音館書店
『せんをまもる! ドクターイエロー』 小学館	『ゾウとともだちになったきつちゃん』 福音館書店
『まどのむこうのくだものあに?』 福音館書店	『おすしゅさんにいらっしやい!』 岩崎書店
『学校が大好きアクバルくん』 アリス館	『がろあむし』 偕成社
『これが鳥獣戯画でござる』 小学館	『桜島の赤い火』 福音館書店

『はからはじまるカルシウムのはなし』 福音館書店	『100 さいの森』 講談社
『ふきさんのアイデアおもちゃ大百科』 偕成社	『カブトムシの音がきこえる』 福音館書店
『さの世界からサイがいなくなってしまう』 学研プラス	『全身マヒの ALS 議員車いすで国会へ』 子どもの未来社
『空を飛ぶミジンコのなぞ』 少年写真新聞社	『小さな里山をつくる』 アリス館
『動物なぜなに質問箱』 講談社	『なまはげ』 汐文社
『二平方メートルの世界で』 小学館	『日本庭園を楽しむ絵本』 あすなろ書房
『福島に生きる凧ちゃんの 10 年』 農山漁村文化協会	『減り続ければいなくなる!? 日本サンショウウオ探検記』 少年写真新聞社
『もしもトイレがなかったら』 少年写真新聞社	『山をつくる』 小峰書店
『和紙ってなに? (全 4 巻)』 理論社	『和食のだしは海のめぐみ 1 昆布』 偕成社
『チバニアン誕生』 ポプラ社	『動物たちが教えてくれる 海の中のくらし』 福音館書店
『フン虫に夢中』 くもん出版	『万葉と令和をつなぐアキアカネ』 岩崎書店
『池上彰の君と考える戦争のない未来』 理論社	『ゲッチョ先生と行く沖縄自然探検』 岩波書店
『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』 家の光協会	

## ウ) 「Japanese Children's Books 2022」

上記 (イ) 「おすすめ! 日本の子どもの本 2022」の英語版を発行した。巻末には、日本の国際アンデルセン賞受賞者 / 候補者の紹介、歴代 IBBY オナーリスト、「おすすめ! 世界の子どもの本 2021」に選ばれた翻訳児童書のリストを掲載した。

AB 判 / 28 ページ / 4 色	
発行日	2022 年 8 月
選書・執筆	奥山恵、坂口美佳子、さくまゆみこ、汐崎順子、土居安子、野上暁、福本友美子
表紙画	荒井良二

英訳	宇田川エイヴリ、竹森ジニー、平野キヤシー
特別協賛	日本児童教育振興財団

## 工)「おすすめ！世界の子どもの本 2022」

日本の子どもたちに読んでもらいたい翻訳児童書のブックガイド。2021年1月から12月に刊行された本の中から、絵本・読みもの・ノンフィクションの категорияで合計65冊を紹介。翻訳家の野坂悦子氏・前沢明枝氏のエッセイ、申明浩氏による国際アンデルセン賞受賞画家スージー・リーの特集を掲載。2022年4月に刊行した「おすすめ！日本の子どもの本 2022」とともに全国の公共図書館に配布した。

AB判／24ページ／4色	
発行日	2022年12月31日
選書・執筆	坂口美佳子、さくまゆみこ、代田知子、神保和子、土居安子、福本友美子、本田まゆみ
表紙画	荒井良二
編集協力	梓澤設夫
特別協賛	日本児童教育振興財団

## ▽掲載図書（65冊・掲載順）

◎絵本	
『おじさんのぼうしはどこいった？』アメリカ 出版ワークス	『お月さんのシャーベット』韓国 ブロンズ新社
『おばあさんとトラ』オランダ 徳間書店	『木のロボットと丸太のおひめさまのだいぼうけん』アメリカ ほるぷ出版
『クロのあたらしいうち』イギリス 徳間書店	『ジェシカといっしょ』アメリカ 徳間書店
『ナナはセラピードッグ』イギリス BL出版	『パイロットマイルズ』イギリス BL出版
『ママ、もうねるじかんだよ』イスラエル 光村教育図書	『真夜中のちいさなようせい』韓国 ポプラ社
『ヤマネのぼうやはねむれない!?』ドイツ ひさかたチャイルド	『エイドリアンはぜったいウソをついている』アメリカ 岩波書店

『おじいちゃんのねがいは』アメリカ 光村教育図書	『すうがくでせかいをみるの』カナダ ほるぷ出版
『空とぶ馬と七人のきょうだい』日本 廣済堂あかつき	『ちいさなおじさんとおきな犬』スウェーデン あすなろ書房
『ぼくは川のように話す』アメリカ 偕成社	『子どもの本で平和をつくる』カナダ 小学館
『旅する小舟』オランダ 求龍堂	『マイロのスケッチブック』アメリカ 鈴木出版
『ウサギ』オーストラリア 河出書房新社	『ボクサー』イラン トップスタジオ HR
◎読みもの	
『ねこと王さま しごとをさがす』イギリス 徳間書店	『ロサリンドの庭』スウェーデン あすなろ書房
『帰れ野生のロボット』アメリカ 福音館書店	『火の鳥ときつねのリシカ』チェコ 岩波書店
『町にきたヘラジカ』アメリカ 徳間書店	『あたしのおばあちゃんは、プタ』イギリス 童話館出版
『サヨナラの前に、ギズモにさせてあげたい9のこと』イギリス 小学館	『山賊のむすめローニャ』スウェーデン 岩波書店
『ソフィーの秘密』イギリス 文研出版	『空から見えるあの子の心』アメリカ 童心社
『飛べないハトを見つけたい日から』イギリス 徳間書店	『パラゴンとレインボーマシン』イギリス 小学館
『春のウサギ』アメリカ 小学館	『バンビ』ドイツ 福音館書店
『ぼくの弱虫をなおすには』アメリカ 徳間書店	『ルーミーとオリーブの特別な10か月』アメリカ 小学館
『青いつばさ』ベルギー 徳間書店	『海を見た日』アメリカ 鈴木出版
『ガラスの顔』イギリス 東京創元社	『ゴースト・ボーイズ』アメリカ 評論社
『詩人になりたいわたしX』アメリカ 小学館	『THIS ONE SUMMER』アメリカ 岩波書店
『どんぐり喰い』オランダ 福音館書店	『ペイント』韓国 イースト・プレス
『見知らぬ友』アルゼンチン 福音館書店	『ミョンヘ』韓国 影書房
『ラスト・フレンズ』イギリス 静山社	『わたしが鳥になる日』アメリカ 小学館
『わたしは夢を見つづける』アメリカ 小学館	

◎ノンフィクション	
『うまれてそだつ』イギリス ゴブリン書房	『地球のことをおしえてあげる』アメリカ 鈴木出版
『ねえ、きいてみて!』アメリカ 汐文社	『111本の木』カナダ 光村教育図書
『コウモリの本』イギリス 合同出版	『自然を再生させたイエローストーンのオオカミたち』イギリス 化学同人
『山の上に貝がらがあるのはなぜ?』スペイン 岩崎書店	『ようこそ!あかちゃん』イギリス 大月書店
『世界でいちばん美しいこども元素ずかん』アメリカ 創元社	『気温が1度上がると、どうなるの?』ドイツ 西村書店
『パラリンピックは世界をかえる』アメリカ 福音館書店	『オマルとハッサン』アメリカ 合同出版

7/17 (日) 対面とオンライン	絵本表現の「いま」と「むかし」	講師：広松由希子
8/20 (土) オンライン	ケストナーの生涯とその時代	講師：ガンツェンミュラー文子
10/2 (日) 対面	わたしの出会った作家と編集者たち～まどさんの『どうぶつたち THE ANIMALS』出版の秘話とその周辺から～	講師：末盛千枝子
11/5 (土) オンライン	ブラチスラバ世界絵本原画展を見に行こう!	講師：松方路子
12/4 (日) 対面	こんなにおもしろい! イランの絵本	講師：愛甲恵子

#### イ) JBBY 新・編集者講座第 8 期

若手児童書編集者にとっての学びの場、子どもの本の未来を創る次世代の交流の場となる講座をオンラインで3回実施した。今年度の全体テーマは「子どもの本で何ができるのか?」。参加者のべ381人。

9/14 (水)	子どもの本で何ができるのか?～赤ちゃん絵本を作る上で大切なこと～	講師：汐見稔幸
9/21 (水)	「誰でも作家!」時代の子ども本作り～デジタル化と児童書校閲の今～	講師：野口満之
11/24 (木)	こんなことを考えながら、子どもの本を作ってきた	講師：広松健児 ゲスト：堀川理万子

#### ウ) 第 5 回 JBBY 子どもの本の翻訳フォーラム

子どもたちには、異なる視点で描かれた海外の文学も必要だという考えから、翻訳児童書に関するフォーラムを毎年開催。2022年度は、多様な価値観を伝える昔話を取り上げオンラインで実施した。「子どもゆめ基金」助成活動。参加者200人。

2023/1/29 (日)	昔話を訳す楽しみ	講師：愛甲恵子、かみやにじ、木村有子、さくまゆみこ、柴なほ、長野徹 コーディネータ：堀内まゆみ
---------------	----------	--

#### オ) 「あしたの本だな～子どもや若い人と本との出会いをつなぐブックリスト」

「あしたの本だな①②」を発行。①では、表紙がユニークで手に取ってみたいくなる本67冊を、②では読んだら楽しい多様な分野の本108冊を紹介。全国の少年院・少年鑑別所・児童養護施設・児童相談所一時保護所に配布した。一般にむけては、総ルビのカード式とともに、ホームページでPdfを無料提供した。

B5判 / 4色 / ①24頁 ②28頁	
発行日	2022年12月
選書執筆	大塚敦子、さくまゆみこ、清水由紀乃、神保和子、土居安子、中島尚子、野坂悦子、藤原潤子、町田りん、村中李衣、山中かおり、和田直
表紙画	児島なおみ
協賛	イオンリテール株式会社

### 3. 講座・研究会

#### ア) 国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座

国際アンデルセン賞や世界の子どもの本をテーマにした講座を5回実施した。一部「子どもゆめ基金」助成活動。参加者のべ682人。

## 工) JBBY 希望プロジェクト学びの会

国内の困難を抱える子どもたちを支援するプロジェクト「JBBY 希望プロジェクト」の活動を、より有意義なものにするため、子どもたちが直面している困難の実情を学ぶ学習会をオンラインで3回実施した。「子どもゆめ基金」助成活動。参加者 601 人。

8/7 (日)	非血縁の家族について考える～里親家庭で育つ子どもたち	講師： 横堀昌子
11/13 (日)	子ども・若者の「生きづらさ」～大人には見えない思春期のあれこれ	講師： 金子由美子
2023/2/22 (水)	生きづらさをかかえた子どもに、本との出会いを～ブックリスト「あしたの本だな」をつくる	講師： 大塚敦子、さくまゆみこ、清水由紀乃、神保和子、土居安子、中島尚子、野坂悦子、町田りん、村中李衣、山中かおり、和田直

## 4. 会報の発行

会報「Book & Bread」を4回発行した。

151号 (6月)	表紙：きのとりこ／インタビュー：村中李衣・石川えりこ・永牟田律子／巻末エッセイ：佐藤まどか
152号 (9月)	表紙：ましませつこ／インタビュー：味田村太郎／巻末エッセイ：わたりむつこ
153号 (12月)	表紙：横須賀香／インタビュー：柏葉幸子／巻末エッセイ：大塚敦子
154号 (2023/3月)	表紙：国際子どもの本の日ポスター(フォティーニ・ステファニーディ)／インタビュー：中辻悦子
仕様	B5版、36頁、表紙カラー、本文モノクロ 印刷：図書印刷株式会社
広告協力	岩波書店、偕成社、共同印刷、くもん出版、講談社、至光社、出版文化産業振興財団、小学館、大日本印刷、東京印書館、図書印刷、凸版印刷、童心社、福音館書店

編集委員	野上暁(編集長)、喜入今日子、田中明子、堤嘉代、藤田隆広、山森健太郎、吉田幸司
レイアウト	計良元宏

## 5. ウェブサイトなどによる広報活動

ホームページやSNSで情報を発信した。JBBY YouTubeチャンネルでは、会員翻訳家が、「IBBY オナーリスト」や「JBBY おすすめ!世界の子どもの本」に選定された本を紹介する動画を配信。

ホームペー ジ	<a href="https://jbbby.org/">https://jbbby.org/</a>	
Facebook	@JBBYpi	フォロワー 2742 (+227)
FB オンラ インサロ ン「Book & Bread Cafe」 会員専用		参加会員 116 (+10)
Twitter	@JBBYpi	フォロワー 4253 (+469)
Instagram	@jbbby_ kodomonohon	フォロワー 1794 (+304)
Peatix	<a href="https://jbbby.peatix.com">https://jbbby.peatix.com</a>	フォロワー 2368 (+821)
YouTube	<a href="https://youtube.com/c/JBBYkodomonohon">https://youtube.com/c/JBBYkodomonohon</a>	登録者数 311 (+105)

※ ホームページの会員専用サイトのパスワード、ならびに会員オンラインサロンの合言葉が不明な場合は、JBBY 事務局まで。

## 6. 協力事業(他団体との連携・協力)

### ア) 子どもの読書推進会議

民間の読書関連団体が結成した「子どもの読書推進会議」構成団体として協力した。野上暁理事が、会議の副代表に就任した。

構成団体 (順不同)	読書推進運動協議会、全国学校図書館協議会、日本雑誌協会、日本書店商業組合連合会、出版文化産業振興財団 (JPIC)、日本児童出版美術家連盟 (童美連)、日本図書館協会、日本書籍出版協会、日本出版取次協会、日本児童図書出版協会、日本児童文芸家協会、日本児童文学者協会、JBBY
---------------	---

## 工) 群馬県太田市美術館・図書館 (群馬県)

事務局長が、運営委員として協力した。

## オ) 後援事業

世界	ミツバチの一枚画コンクール	山田養蜂場
全国	JPIC 読書アドバイザー養成講座	出版文化産業振興財団 (JPIC)
全国	日産 童話と絵本のグランプリ	大阪国際児童文学振興財団 / 日産自動車
全国	アンデルセンのメルヘン大賞	アンデルセン・パン生活文化研究所
全国	いたばし国際絵本翻訳大賞	板橋区ほか
全国	ミツバチの絵本コンクール	山田養蜂場
全国	全国学校図書館研究大会	学校図書館協議会
全国	創作童話・絵本・デジタル絵本コンテスト	幼年教育・子育て支援推進寄稿
北海道	けんぶち絵本の里大賞・けんぶち絵本原画展	剣淵町絵本の館
新潟県	田島征三・アートのぼうけん	新潟市新津美術館
新潟県	絵本ワールド in にいがた	新潟日报社ほか
富山県	とやま元気ワールド・絵本ランド Web2022	富山新聞社ほか
長野県	フェアリーテイルの世界 (前期 / 後期)	軽井沢絵本の森美術館
長野県	アンデルセンのことばと絵	軽井沢絵本の森美術館
東京都	上野の森親子ブックフェスタ	子どもの読書推進会議ほか
東京都	幼い日に見た夢～いわさきちひろ展	ちひろ美術館・東京
東京都	ちひろ美術館コレクション～江戸からいまへ 日本の絵本展	ちひろ美術館・東京
東京都	くらし、えがく。ちひろのアトリエ	ちひろ美術館・東京
東京都	没後 50 年初山滋展～見果てぬ夢	ちひろ美術館・東京

## イ) ブラチスラバ世界絵本原画展 (国内巡回展)

2021 年 BIB の受賞作品、日本から出展作品、韓国の特集を紹介する国内巡回展「ブラチスラバ世界絵本原画展・絵本でひらくアジアの扉」に協力した。(主催：各開催館ならびに朝日新聞社)

11/12～12/25	千葉県	千葉市美術館
2023/2/8～3/12	大阪府	東大阪市民美術センター

2023 年度に続く。

## ▽日本の出展作家と作品

あべ弘士『うみどりの島』
荒井真紀『まどのむこうのくだものなにあに?』
荒井良二『こどもたちはまっている』
飯野和好『かふんとみつ』『火あやかし』
うえだまこと『りすとかえるとかぜのうた』
きくちちき『おひさまわらった』
しおたにまみこ『たまごのはなし』 * 金牌
スズキコージ『チンチラカと大男』
田島征三『つかまえた』
たじまゆきひこ『せきれい丸』
館野鴻『がろあむし』
中野真典『ミツ』
降矢なな『どうぶつ ABC えほん』『ヴォドニークの水の館』
松本大洋『こんとん』
ミロコマチコ『ドクルジン』

## ウ) 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」

喜入今日子理事と藤田隆広理事が、第 6 回ミツバチの絵本コンクールに審査員として協力した。

東京都	ポローニャ・ブックフェア in いたばし	板橋区ほか
東京都	12年目の「3・11」～平和の危険の中で考える	日本ペンクラブ・子どもの本委員会
神奈川県	堀内誠一 絵の世界	県立神奈川近代文学館ほか
静岡県	田島征三・アートのぼうけん	藤枝市郷土博物館・文学館
愛知県	田島征三・アートのぼうけん	刈谷市美術館
高知県	田島征三・アートのぼうけん	やなせたかし記念アンパンマンミュージアム
イタリア	日本の絵本100年100人100冊展	ポローニャ・サラボルサ図書館

## 【その他の事業】

### 1. イタリア・ポローニャ国際絵本原画展

ポローニャ・ブックフェアで開催される「イラストレーター展」の入選作品を紹介する国内巡回展「2022 イタリア・ポローニャ国際絵本原画展」を4会場で実施した。JBBYは巡回事務局を務めた。

6/25～8/7	東京都	板橋区立美術館
8/13～9/25	兵庫県	西宮市大谷記念美術館
11/3～12/11	石川県	石川県七尾美術館
12/17～2023/1/22	群馬県	太田市美術館・図書館

### 2. JBBY 希望プロジェクト

IBBYのチルドレン・イン・クライシスの精神に則り、日本国内の困難な状況にある子どもたちに本を通じた支援活動を行った。▷学びの会については、17頁(エ)参照。

#### ア) 支援活動

##### (1) 野馬追文庫

2011年の東日本大震災の後、福島県南相馬市の仮設住宅に毎月本を送るプロジェクトからスタートし、現在は随時児童施設へ寄贈。

初夏	小高交流センター、小高認定こども園、聖愛こども園、聖愛ちひろば園に、季節の本を寄贈
冬	小高交流センター、小高認定こども園、聖愛こども園、聖愛ちひろば園に、季節の本を寄贈

#### (2) 子ども食堂へクリスマスプレゼント

「みんかふえ」「あさやけ子ども食堂」など交流のある子ども食堂へ、豆本や布遊具をプレゼントした。

#### (3) 避難してきた子どもたちへ本のプレゼント

ウクライナ戦争を機に、日本に避難している外国の子どもたちに、日本で刊行されている文字がなくてもわかる絵本(翻訳書含)をプレゼントした。ウクライナから来た子どもには、Ukrainian Book Instituteが提供してくれたウクライナ語の本のpdfを簡易製本してプレゼントした。

支援先	全国29の団体と家族
協力	偕成社、講談社、こぐま社、小学館、BL出版、評論社、福音館書店、富山房、文研出版、ほるぷ出版、イオンリテール株式会社

#### (4) はしれディーゼルきかんしゃデー講演会

2019年度に協賛し、その後コロナで延期されていた、福島県立図書館での講演会が実現した。

2023/2/25(土)	はしれディーゼルきかんしゃデー講演会	講師：すとうあさえ、鈴木まもる
--------------	--------------------	-----------------

#### イ) あしたの本だな

少年院や少年鑑別所からの希望で2019年に着手した子どもや若い人と本をつなぐブックリスト「あしたの本だな」が完成。

・リストの本をとりそろえた東日本少年矯正医療・教育センターの図書コーナー作りに協力。

・イオンリテール株式会社の寄付で冊子版「あしたの本だな①②」を刊行。全国の少年院、少年鑑別所、児童養護施設、児童相談所一時保護所に配布した。子ども用の総ルビのカード式解説とともに、冊子の

PDF版をホームページで無料提供した。

・学びの会を実施し、プロジェクトの目的や選定図書を紹介した。

▷冊子については、16頁（オ）参照。

▷学びの会については、17頁（エ）参照。

### ウ) 募金活動

希望プロジェクトの支援活動に限定した寄付を募った。2022年度は、イオンリテール株式会社からいただいたチャリティ売上の一部1,254,184円を含む、総額1,594,384円を集めた。

#### ■募金口座

ゆうちょ銀行 ○一八（ゼロイチハチ）支店  
普通口座 2477506  
名義：ニホンコクサイジドウトシヨヒョウギカイ

#### ■JBBY 希望プロジェクト

東日本大震災後、子どもの本に関わるいくつかの団体とともに立ち上げた「子どもたちへ〈あしたの本〉プロジェクト；2011-2016」で培った経験や反省をいかし、日本国内のさまざまな困難を抱える子どもたちに目をむけ、本の力で希望ある未来を届けようと、JBBYが2017年に発足。

## 3. フォーラム・子どもたちの未来のために

構成団体のひとつとして、「フォーラム・子どもたちの未来のために」に参画した。オンラインの学習会 / 講演会を2回実施。フォーラムのサイトからアーカイブを視聴可能。

<https://www.f-kodomotachinomirai.com/blog>

6/25 (土)	私がこの一票に込める思いは？ ウクライナ危機下の参院選を考える	講師： あさのあつこ、 澤田精一、高田桂子、垂石眞子、松本猛、元山仁士郎
11 / 28 (月)	私が見た"政治とメディア"の現在～ウクライナ戦争・安倍元首相銃撃事件・国葬・旧統一教会問題～	講師： 金平茂紀

#### ■フォーラム・子どもたちの未来のために

「特定秘密保護法」や一連の「安保法案」が子どもたちの未来を危うくするものと受け止め、子どもの本に携わる出版社、作家、画家、翻訳家、研究者など各方面の団体が危機感を共有して2013年に結成した連絡組織。会員への強制力はなく、勉強会を実施することで問題意識の拡大を図る。

構成団体：絵本学会、絵本作家・画家の会、童話著作者の会、日本児童図書出版協会、日本児童文学者協会、日本ペンクラブ「子どもの本」委員会、JBBY。

<https://www.f-kodomotachinomirai.com/>

## 4. 会員主導による自主勉強会

### ア) ノンフィクションの子ども本を考える会

2018年にスタートした会員活動。オンラインの読書会を3回実施した。参加者のべ71人。

5/9 (月)	テーマ：戦争を知り、ふせぐ本を考える
9/29 (木)	テーマ：プラスチックごみ問題の絵本を考える
2023/1/26 (木)	テーマ：アフリカからいま伝えたいこと 講師：味田村太郎

### イ) 絵本部

2022年度に「絵本部」を発足。第1回は刈谷市美術館（愛知県）への遠足で、開催中の「田島征三アートのぼうけん展」を見学後、田島征三氏の講演会を聴講した。参加者13人。

## 5. 三浦太郎展 絵本とタブロー

板橋区立美術館で開催された「三浦太郎展 絵本とタブロー」を共催、展覧会事務を受託した。

会期	11/19～2023/1/9
会場	板橋区立美術館（東京都）
主催	板橋区立美術館、JBBY

## 6. 物販

なし

## 【組織・その他】

### 1. 総会・理事会等の開催

理事会をオンラインで4回実施した。総会は、事前に会員から書面議決書と委任状を集め、役員だけが出席してオンラインで実施。報告会と親睦会を行った。

5/13 (金)	第1回理事会	出席 16 名 総会について / JBBY50 周年について / 日本に避難してきた子どもへの支援について / 子どもの本の日ふりかえりほか
6/10 (金)	第2回理事会	出席 17 名 総会について / 2024 年国際アンデルセン賞について / JBBY50 周年について / 希望プロジェクトについてほか
6/25 (金)	第52回定時総会	出席 22 名 委任状 134 名 書面議決書 188 個 2021 年事業報告の件 / 2021 年度決算報告の件 / 2022 年事業計画と予算書の件
11/16 (水)	第3回理事会	出席 16 名 子どもの本の日について / 2024 年国際子どもの本の日ポスター申請について / JBBY50 周年について / 子どもゆめ基金申請についてほか
2023/2/6 (月)	第4回理事会	出席 14 名 役員改選について / 総会について / JBBY50 周年について / 子どもの本の日フェスティバルについてほか

理事	おおつかのりこ (翻訳家)
理事	喜入今日子 (小学館第二児童学習局プロデューサー兼児童創作室長)
理事	木村有子 (翻訳家)
理事	佐藤まどか (作家)
理事	汐崎順子 (研究者)
理事	神保和子 (家庭文庫主宰)
理事	竹迫祐子 (いわさきちひろ記念事業団理事)
理事	中野怜奈 (翻訳家、ミュンヘン国際児童図書館日本担当)
理事	廣松英樹 (福音館書店専務取締役)
理事	藤田隆広 (偕成社編集部)
理事	吉田幸司 (講談社第六事業局新事業チーム担当部長兼国際ライツ事業部担当部長)
理事	吉野万理子 (作家)
監事	赤石忍 (日本児童図書出版協会事務局長)
監事	阿部薫 (元講談社編集者)
監事	柏原順太 (元小学館編集者)

### 2. 役員

会長	さくまゆみこ (翻訳家)
副会長	代田知子 (三芳町立図書館運営相談員、日本子どもの本研究会会長)
副会長	野上暁 (日本ペンクラブ常務理事、東京純心大学客員教授)
副会長	広松由希子 (絵本の評論、文、翻訳、展示企画)
専務理事	土居安子 (大阪国際児童文学振興財団総括専門員)